

氏名	伊藤 知子	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	音楽、音楽科教育学				
学位	修士（芸術学）				
学歴	1998年日本大学芸術学部音楽学科、2000年日本大学大学院芸術学研究科修士課程				
経歴	2001年青森中央短期大学講師、2006年育英短期大学講師、2009年埼玉県立大学講師、2018年埼玉県立大学准教授				
所属学会（役職）	全国大学音楽教育学会、日本保育学会、日本音楽教育学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	保育士及び教員養成におけるオンライン授業の課題－SPU音楽表現研究会の報告－	共著	なし	子ども・教職研究	○伊藤 知子、佐々木 真実、飯村 諭吉、浅賀 ひろみ	2021.3
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	オンラインによるピアノ指導について考える	単独	SPU音楽表現研究会	○伊藤知子	2020.9	
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	アートとコミュニケーション	○	15コマ	科目責任者として非常勤講師等との授業のコーディネートをし、授業の質の向上に努めた。自身の担当する授業ではICTを積極的に取り入れ授業を行った。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	幼児と表現（音楽表現）Ⅰ	○	16コマ	科目責任者として、非常勤講師との連携を図り、授業の質の向上に努めた。本年度はオンライン授業と認め、学生に鍵盤楽器が行き渡るよう手配するなど行った。個別の指導に力を入れ、学生個人の能力等に合わせた指導を行った。		
2	保育表現技術（音楽Ⅱ）	○	16コマ	科目責任者として、非常勤講師との連携を図り、授業の質の向上に努めた。本年度はオンライン授業と認め、学生に鍵盤楽器が行き渡るよう手配するなど行った。個別の指導に力を入れ、学生個人の能力等に合わせた指導を行った。		
3	保育内容・指導法（表現Ⅱ）	○	15コマ	3年次生を対象に、オンラインによる遠隔授業で領域「表現」を踏まえ、子どもが劇遊びを楽しむことを想定し、劇遊びを体感し、子ども向けの劇を作成・実演（動画作成）する指導をおこなった。また、学生が将来保育者として、1つのもを子どもと職員とともに作り上げることも想定し、振り返り用紙等の活用で学生間での進捗状況等を把握し、葛藤等に介入した。		

4	保育内容「表現」の指導法Ⅱ	○	15コマ	2年次生を対象に、オンラインによる遠隔授業で、領域「表現」を踏まえ、子どもが劇遊びを楽しむことを想定し、劇遊びを体感し、子ども向けの劇を作成・実演（動画作成）する指導をおこなった。また、学生が将来保育者として、1つのもを子どもと職員とともに作り上げることも想定し、振り返り用紙等の活用で学生間での進捗状況等を把握し、葛藤等に介入した。
5	保育内容・指導法（音楽表現Ⅱ）	○	15コマ	オンラインによる遠隔授業で保育現場で必要となる音楽的表現活動の指導法を指導した。Zoom上で学生たちに模擬保育を実施してもらうITの取り入れ方の指導などを行った。特に、現場で求められる音楽知識の再確認に力を入れた。
6	保育内容「音楽表現」の指導法Ⅰ	○	15コマ	オンラインによる遠隔授業で保育現場で必要となる音楽的表現活動の指導法を指導した。特に、指導案の作成指導、および模擬保育によるアクティブラーニングに力を入れた。
7	芸術活動（音楽）	○	15コマ	オンラインによる遠隔授業の中でも、学生が音楽の楽しみ方を実践的に体感することに力を入れた。ICTを積極的に取り入れ授業を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	保育実習ⅠA		12日	3年次生を対象に、保育所における実習の訪問指導を行った。
2	保育実習事前事後指導ⅠA		4コマ	3年次生を対象に、保育所における保育について学びを深めると共に、実習で必要になる保育技術の指導を行った。
3	保育実習ⅠB		15コマ	3年次生を対象に、保育士取得における施設における実習に関する授業を行なった。
4	保育実習事前事後指導ⅠB		4コマ	3年次生を対象に、保育士取得における施設に関する保育について学びを深めるとともに、実習で必要になる保育技術の指導を行った。
5	保育実習Ⅱ	○	12日	4年次生を対象に行われる保育所における実習指導を行った。科目責任者として実習依頼等諸手続きとを行い、学生指導を行った。保育所の実習の訪問指導を行った
6	保育実習事前事後指導Ⅱ	○	15コマ	科目責任者として全体のコーディネート他、4年次生を対象に行われる保育所における保育についてさらに学びを深めるとともに、実習に必要な保育技術の指導を行った。
7	保育実習Ⅲ		12日	4年次生を対象に、保育士取得における施設における実習の、訪問指導を行った。
8	保育実習事前事後指導Ⅲ		4コマ	4年次生を対象に、保育士取得における施設に関する保育について学びをさらに深めるとともに、実習で必要になる保育技術の指導を行った。
9	教育実習（幼）Ⅰ		5日、3コマ	2年次生を対象に、幼稚園における教育について学びを深めるとともに実習で必要となる指導法を指導した。また、訪問指導を行なった。
10	教育実習（幼）Ⅱ		15日、3コマ	4年次生を対象に、幼稚園における教育についてさらに学びを深めるとともに実習で必要となる指導法を指導した。また訪問指導を行なった。
11	IPW実習		4日、6コマ	オンラインによる遠隔授業で科目担当者として学生の主体的な学びになるよう、施設ファシリテータと協力しながら指導した。
(4) 論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業論文		2019年11月から2020年1月	主指導 3名 副指導 3名
2	修士論文			主指導（指導教員） 名 副指導（指導補助教員） 名
3	博士論文			主指導（指導教員） 名 副指導（指導補助教員） 名
(5) その他				
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	子ども・教職研究の査読		2021年1月	

4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師			
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ
1	該当なし		
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	日本クラシック音楽協会	審査員	2019年度～
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	学生支援委員会	2020年度～
2	全学的委員会及びセンター業務等	就職対策部会	2020年度～
3	学生支援	2年学年担当	2020年度
4	学生支援	保育士課程担当1・2年	2020年度～
5	学生支援	教員採用試験支援	2020年度～
6	学生支援	サークルJOY顧問	2020年度
7	学生支援	サークルdolce顧問	2020年度
8	学生支援	サークルギターマンドリンクラブ顧問	2020年度
9	大学広報活動	オープンキャンパス	2020年度
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			